

報道関係者 各位

専修大学 学内広報紙「ニュース専修 6 月号」トピックス

- 三崎稲荷神社例大祭の神輿渡御に学生が協力
- 大型キャリアイベント「専修キャリアフェア 2026 春」開催
- シンポジウム「裁判員制度は何を変えるのか」18 歳裁判員時代の課題を議論
- 学食人気メニュー 300 円で提供「応援ランチ」実施 ■専大スポーツ

専修大学(住所:東京都千代田区、学長:馬場杉夫、以下本学)では、8月を除く毎月15日、年間11回、大学広報紙、ニュース専修を発行しています。2026年6月号のトピックスをお届けします。

■三崎稲荷神社例大祭の神輿渡御に学生が協力(1面)

内容:5月上旬に開催された三崎稲荷神社(千代田区神田三崎町)の例大祭で、神田キャンパス周辺の二つの町会の町内神輿渡御に多くの専大生が参加。北神保町会には近隣企業関係者や住民らとともに学生約20人が参加し、夕刻の靖国通りや専大通りを威勢のよい掛け声とともに練り歩いた。また神保町三丁目町会には SKV(専修神田ボランティア)の学生約15人が担ぎ手や交通誘導として協力。本紙では参加した学生のコメントを掲載。

**■大型キャリアイベント「専修キャリアフェア2026春」を生田で開催 (1面)**

内容:学生と企業をつなぐ大型キャリアイベント「専修キャリアフェア2026春」が5月2日、生田キャンパスで開催され、3年次生をはじめ1・2年次生や保護者など計約1,900人が来場した。本学学生に関心を持つ優良企業24社による説明会のほか、第一線で活躍する11人の OB・OG が登壇したパネルディスカッション、広告や IT などの業界研究セミナー、実際の業務を体験するグループワークなど多彩なプログラムを実施した。

■シンポジウム「裁判員制度は何を変えるのか」18歳裁判員時代の課題を議論(5面)

内容:本学法社会ゼミナールなどが主催する裁判員制度の現状や課題について意見を交わすシンポジウム「裁判員制度は何を変えるのか」が5月10日、神田キャンパスで開催された。18歳裁判員時代の法教育、誤判防止と再審、制度施行20年に向けた課題について議論した。第1部では若い世代の裁判員選任や法教育をテーマに、裁判員経験のある法学部生が参加し、「審理は話しやすく貴重な経験だった」と振り返ったほか、若年層への支援や制度理解の重要性を指摘。第2部ではえん罪問題や再審制度の見直しについて弁護士らが意見を交換し、第3部では研究者や実務家が制度の現状と課題を提示した。

■学食人気メニュー 300円で提供「応援ランチ」実施(5面)

内容:学生の経済的負担を軽減し、充実した学生生活を応援する「応援ランチ」が5月15～22日、生田・神田両キャンパスで実施された。数量限定で、通常価格650円相当のメニューを300円で提供。連日、開始前から長蛇の列ができる大人気となり、学生からは「この値段でこのボリュームは本当にありがたい」と感謝の声寄せられた。本プロジェクトは、今後も前期では6月・7月、後期は10月～12月に実施を予定している。

■専大スポーツ <フェンシング部>関東学生フェンシングリーグ戦 男子エペ連覇(8面)

5月8～14日に関東学生フェンシングリーグ戦が行われ、男子エペが全勝優勝で、2連覇を達成した。最終戦で対戦した慶応大学は昨年の公式戦で一度も勝てたことのない強敵であった。一度はリードを許すも逆転に成功し、その後は熊谷志孔(商3・北陸高)を中心に相手の追撃を振り切り、45-43で激闘を制した。6月に関東王者として全日本学生王座決定戦に臨む。また男子フルーレと女子サーブルがともに2部を全勝で優勝。入れ替え戦も勝利して1部復帰を決めた本紙では、出場した選手のコメントを掲載している。

ニュース専修について

- 発行日:毎月15日(8月除く) ■発行部数:約70,000部 ■発行元:専修大学広報課 ■配布場所:専修大学構内
- サイズ:タブロイド版 ■ページ:8頁 ■色:フルカラー

※web でも電子版を公開しています。 <https://www.senshu-u.ac.jp/senshuonline/newssenshu/>

ニュース専修